



# 高橋あきら 後援会だより

令和8年4月 第12号

発行：高橋あきら後援会  
後援会：日立市河原子町1-1-1  
電話：0294-33-1273  
FAX：0294-32-3620

## 令和8年 第1回日立市議会定例会を開催

3月4日(水)から24日(火)までの21日間の会期日程で、定例会が開催されました。

本定例会の中で提出された議案は計37件、陳情・請願は2件であり、それぞれ所管する事項毎に各委員会へゆだねられ、慎重に審査・調査を行いました。

その後、本会議の中で、各委員長より報告があり、議会としての採決の結果、全議案とも原案可決なら

びに原案承認となり、陳情・請願等については不採択と決しました。

議案の内訳		件数[件]
1	令和8年度当初予算	8
2	令和7年度補正予算	5
3	条例・契約関係	13
4	その他(人事案件・専決処分等)	11
5	陳情・請願	2

### 令和8年度当初予算の概要 1,280.1億円(前年度比で+11.8億円)

原案可決

#### ◆基本方針

選択と集中による「前期基本計画の総仕上げ予算」

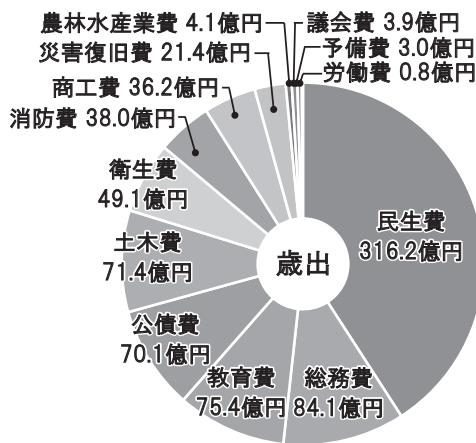
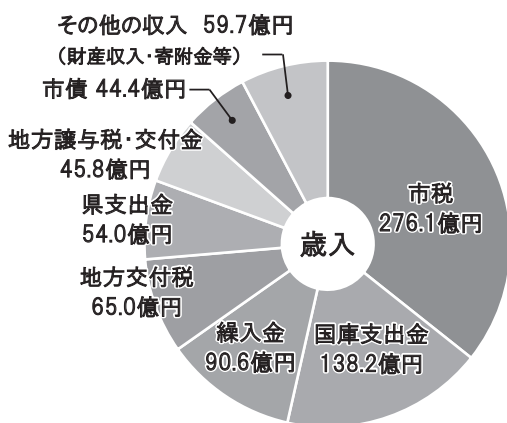
#### ◆重点項目

- ①市民の暮らしと生活を守る「物価高騰対策」の実施
- ②最終年度を迎える「総合計画 前期基本計画」の着実な推進(計画に位置付けた大型事業や共創プロジェクトの推進)
- ③令和5年台風13号に伴う「豪雨災害からの復旧」
- ④人口急減社会に対応する「行政経営改革」への取り組み

事業項目	予算【億円】	前年度比	
		増減額【億円】	増減率【%】
一般会計 ※	773.7	12.4	1.6
特別会計	506.4	▲0.6	▲0.1
合計	1280.1	11.8	0.9

※災害復旧費(約21億)を除くと増減率▲0.1%

### 一般会計における歳入・歳出の概要(773.7億円…過去最大の予算規模)



※四捨五入での端数処理上、計算が一致しない場合有

#### ▼特徴(増減理由など)▲

- ① 市税(前年度比5.8億円増)  
→個人市民税や固定資産税の増加など
- ② 国・県支出金(前年度比計4.7億円増)  
→(国)地方創生臨時交付金(物価高騰対策)の増加、(県)給食費負担軽減交付金(小学校分)の皆増、日立共創プロジェクト推進事業補助の増加など
- ③ 市債(前年度比4.7億円増)  
→本庁舎災害復旧・安全対策事業債の増加

- ① 民生費(前年度比11.7億円増)  
→宮田児童クラブ棟建設、地域リハビリテーションセンター整備など
- ② 教育費(前年度比15.4億円減)  
→運動公園野球場再整備の大型事業部や日立風流物展示収蔵施設整備完了などに伴う減少
- ③ 災害復旧費(前年度比13.5億円増)  
→本庁舎災害復旧・安全対策、治水対策など

# 令和8年度の主な事業

## 物価高騰対策事業

### 1. 暮らし応援物価高騰対策事業

**【2億8,981万円】【臨時】**

市内登録店舗で利用できる  
「暮らし応援商品券」を配布

**【対象】** 全市民

※令和8年3月1日時点で住民登録有

**【助成額】** 5,000円/人

※65歳以上単身世帯者は10,000円/人

**【利用期間】** 令和8年5月～8月まで(予定)



### 2. 高齢者おでかけ支援事業

**【タクシー乗車費助成】【5,400万円】【拡充】**

下記対象の方にタクシー乗車費  
助成券を交付

**【対象】** 在宅で生活をする

- ①要支援1以上の認定を受けた70歳以上80歳未満の方
- ②80歳以上の方

**【助成額】** 10,000円/人

**【利用期間】** 令和8年6月～12月まで



### 3. 経営基盤強化支援事業【2,760万円】

中小企業の競争力・課題解決・人的資本経営支援

①展示会出展、特許出願、先端設備導入等への支援

**【補助金】** 補助率1/3、上限80万円

②事業承継、事業継続力強化、課題解決に必要な  
コンサルタント費等への支援

**【補助金】** 補助率1/3、上限80万円

③セミナー・研修訓練等の受講、人材採用に向けた  
職場環境改善等への支援

**【補助金】** 補助率1/3、上限30万円

### 4. 省エネ家電導入促進事業【1億4,557万円】【臨時】

省エネ性能の高いエアコンまたは  
冷蔵庫への買換え購入費を補助

**【対象】** 市内店舗で省エネ基準

を満たすエアコンまたは冷蔵庫への買  
換えを行った市内在住者

※75歳以上の方を含む高齢者(65歳  
以上)のみのエアコンがない世帯は、  
新規または追加購入した場合も対象

**【補助額】** 3万円/世帯(3万円未満は購入額)

**【対象期間】** 令和8年4月1日～10月28日まで

**【申請期間】** 令和8年5月20日～10月28日まで

※対象・申請期間は予定



### 5. 学校給食費の無償化【5億9,001万円】

小・中学校等での給食費の完全  
無償化を継続実施

※令和8年度から国が小学校の  
給食無償化を実施するため、中  
学校分について地方創生臨時交付金を活用



### 6. 飲食店物価高騰対策事業【2,011万円】【臨時】

下記対象に「応援給付金」を支給

**【対象】** 飲食店を営む市内事  
業者

※令和8年4月1日  
時点での営業店舗等

**【助成額】** 定額10万円/店舗

**【申請期間】** 令和8年4月～6月まで(予定)

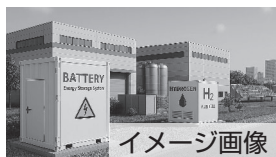


## 共創プロジェクト推進事業

### 1. スマート産業団地の整備【4,000万円】【新】

DXやGXを実現する持続  
可能なものづくりの拠点と  
なる「スマート産業団地」の  
整備に係る事業計画策定に  
要する経費に補助金を交付

**【補助金】** 補助率1/2、上限4,000万円



イメージ画像

### 2. 中小企業AIサービス活用【450万円】【新】

生産性向上や競争力強化を進め、脱炭素に取り  
組みやすい経営体制への改善を図るため、AIサー  
ビス提供企業との連携による中小企業のAIサービ  
スを活用した実証事業を実施

### 3. スマート住宅エリアの整備【700万円】【新】

①誰もが安心、快適に暮らし続けられる「スマ  
ート住宅エリア」の将来像、具体的な施策やロー  
ドマップなどを整理した基本構想を策定

②デジタル技術を活用した  
“未来の暮らし”の体験機  
会を提供する実証事業を  
実施



イメージ画像

### 4. 中小企業脱炭素経営支援【5,042万円】【拡充】

CO<sub>2</sub>排出量を「見える化」し、排出量削減に向  
けた進捗管理を支援するシステムのクラウド環境  
への切替等改修 など

## デジタル健康・医療・介護の推進

### 1. 健康データの集約・活用【3,644万円】【拡充】

- ①健康アプリを活用した高血圧対策として、AI疾病発症予測等を提供
- ②健康アプリと連動性がある血圧計を、市内公共施設や商業施設等に配置(計53か所)

### 2. 地域包括ケアシステムの構築【562万円】【拡充】

デジタルツールを活用した市・医療・介護事業者間の情報共有、介護サービスのマッチング等の実証(300事業所を予定)

### 3. 在宅医療・介護連携推進事業【486万円】【新】

- ①医療・介護・福祉サービス等の社会資源情報をデジタル化による集約
- ②試行的にAIを活用した高齢者の介護・福祉に関する相談環境を整備

## 公共交通のスマート化

### 1. 公共交通のスマート化【4,010万円】【新】

日立製作所のツールを活用した市内交通流データの可視化・分析等を行い、交通需要マネジメント施策や公共交通の再構築などを検討



イメージ画像

## 3テーマ共通事業

### 1. 市民提案型事業【351万円】【新】

共創プロジェクトで取り組む3テーマについて、市民等から「まちづくりの課題解決に向けた提案」を募集し、審査により採択した施策を社会実装

## 大 型 事 業

### 1. 地域リハビリテーションセンター整備事業

【1億8,351万円】【臨時】

旧萬春園デイサービスセンター棟を活用し、健康寿命延伸のため、心身の状態等に応じた機能の維持・改善に取り組み、健康づくりと交流ができる拠点施設を整備

※令和8～9年度継続費 総額5億56万円

### 2. 産業団地整備事業【8,850万円】【臨時】

神田町に新たな産業団地を整備するため、盛土造成工事を実施

### 3. 北部消防署庁舎整備事業【1億7,205万円】

【臨時】

令和8年4月からの新北部消防署供用開始に伴い、旧北部消防署の解体工事を実施

### 4. 常陸多賀駅周辺地区整備事業

【10億1,722万円】【臨時】

- ①常陸多賀駅周辺地区整備事業  
仮駅舎整備、物件移転補償 など
- ②多賀停車場大沼線改築事業  
用地取得、物件移転補償 など
- ③関口間々下線改築事業  
用地取得、物件移転補償 など



## そ の 他 主 要 事 業

### 1. 学校施設整備事業【3億2,789万円】【臨時】

- ①屋内運動場空調設備設置工事  
大久保小学校、日高中学校
- ②受変電設備調査委託(小学校18校)
- ③スポットクーラーの増設  
小・中・特別支援学校 計46台⇒96台

### 2. 中学校スポーツ・文化活動推進事業

【2,330万円】【新】

休日における中学生のスポーツ・文化活動の機会を提供する団体を支援



### 3. 道の駅日立おさかなセンター周辺地区

再整備検討事業【701万円】【臨時】

道の駅日立おさかなセンターとその周辺地区を含めた再整備手法を検討



### 4. 日立メディカルセンター看護専門学校

運営補助事業【400万円】【新】

入学者に対し、奨励金を支給  
【奨励金】10万円/人



# トピックス

## 休日における部活動の地域展開が始まる

～スポーツ・文化活動を親しむことができる機会の確保や教職員の働き方改革に向け～

本市では、少子化の進行に伴い、中学校生徒数が令和元年度の4,306人から令和7年には3,425人へと減少しており、部活動の維持(団体競技の継続)、顧問教員の確保、技術や伝統の継承、生徒自身の選択肢も限られつつあるなどの課題が発生しています。

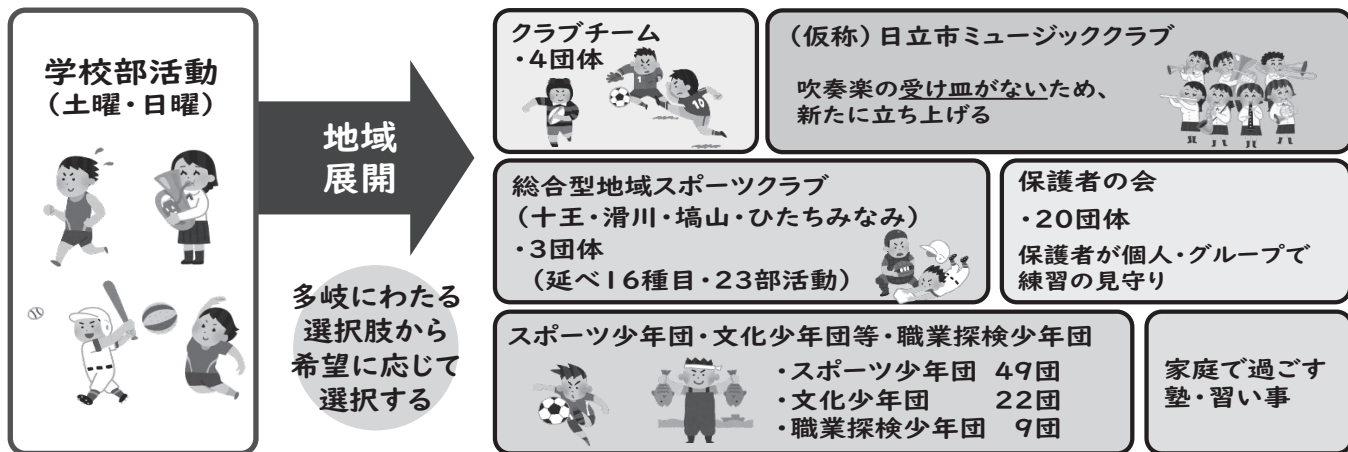
このような状況から、国や県の方針をふまえ、令和8年度より休日における部活動の地域展開が始まります。

具体的には、県内でも有数の総合型地域スポーツクラブや少年団等の団体が地域に存在するなどの本市の特徴を生かし、運動系はスポーツ協会に、文化系は市民文化財団に管理・運営を委託した上

で、それぞれに相談・調整役を担うコーディネータ1名を配置するなど、参加を希望することもたちや保護者を支える体制の下で取り組みが進められていきます。

本取り組みにより、少子化の進む中、将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化活動に継続して親しむことができる機会の確保につながるだけでなく、教職員の働き方改革も期待されます。

一方、子どもたちが希望する活動を選択できているのか、指導者の質や安全性確保の問題の有無、任意参加であるものの保護者の負担感などについて、単なる制度移行にとどまらず、実態を注視しながら必要な改善を求めています。



## こども誰でも通園制度が始まる

～全てのこどもの成育環境と成長機会を保障に加え、保護者の不安や負担感解消に向け～

本市において、令和8年度より「乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)」が始まります。

本事業は、令和6年度の児童福祉法改正に伴い市町村の許可事業として創設され、保護者の就労の有無に関わらず、月一定時間までの利用可能枠の中で時間単位で柔軟に事業許可を受けた保育園等を利用できるものです。

昨今、多様な働き方やライフスタイルがある中、

全てのこどもの成育環境や集団生活を通じた成長機会を保障し、保護者の子育て相談ができる環境構築と負担感解消が期待されます。

一方、保育園等の現場負担の増加や短時間・不定期利用となりやすい点、保育の質の確保などが懸念されることから、継続的な状況確認と必要な改善がなされるよう市政に提言してまいります。

◆対象施設(令和8年4月1日時点)

こども誰でも通園制度	
対象者	保育園等に通っていない 生後6か月～満3歳未満 ※施設事情により受入年齢変動
利用可能時間	1か月あたり10時間まで
利用料金	1時間あたり300円

施設名	開始日	受入年齢	実施日時	
十王幼稚園・保育園	4/1	生後6か月～2歳	月～金	9:00～14:00
学びの森わかば園		1歳～2歳		9:00～12:00
おおもり保育園			火・木	9:30～16:30
日高幼稚園	4/30	2歳	木	9:30～11:30
諏訪かおる幼稚園	6/1	2歳	月・火・木・金	8:30～13:30

### 編集後記

以前、一般質問で取り上げました市内JR各駅へのAED設置や一時保育申請のデジタル化などが令和8年度進められる予定です。今後も皆さまの声を伺いながら、市政への提言を行ってまいりますのでご指導をお願いいたします。

仕事の不満や不安、悩まないでお電話を  
**何でも労働相談**  
 連絡の茨城 **0120-154-052**